

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。先日1月23日10年に1度の大寒波が到来し極寒の寒さでしたね。春の訪れが待ち遠しいですがお変わりございませんでしょうか。テニスの四大大会全豪オープンテニスの

決勝で敗れ準優勝に終わった上地結衣選手。試合後に対戦相手の選手に「おめでとう。あなたはとても素晴らしい選手です」と称えたとの事。以前、パラリンピックの父と呼ばれた医師ルードウィッヒ・ゴッドマン博士が言った言葉を思い出しました。「失ったものを数えるな。残されたものを最大限生かせ」と。私達に勇気を与えてくれたと思います。皆さまが良き春をお迎えになりますようお願い申し上げます。

サンライズの物語

ご家族に囲まれた旅立ち——

介護職としてできることを考える物語



その方は、年末国立がんセンターから退院した末期がんに罹患した方でした。

自宅へ戻りたい一心で帰ったのです。息子さんや娘さんが待つ自宅へと必死の思いで帰宅したのです。

お会いした時は、実のお姉さまも来ておられ、「自宅へ戻り安心しました。」と言うとすぐにベットに横になられました。

息子さん、娘さん、お姉さまが介護に携わっていたのですが4日後に自宅で息を引き取りました。

ご家族に囲まれた旅立ち・・・その方の一途な思い・・・自宅で看取る辛さ苦しさは想像を絶する辛い別れだと思います。

その反面安らいだ空間での旅立ちは、その方にとっては安心できる場所だったのでないかと思います。

利用者様や家族との別れの時に思うことは、人は何故死ななければならぬのだろうか。そんな愚問が頭の中に浮かぶのです。

サンライズのデイサービス陽光だより



スカイツリー・浅草 外出レク

スカイツリーの下まで
行き記念撮影
してきました。
浅草の浅草寺に行き
お参りしてきました。



誕生日

誕生日カードを差し上げ、
おやつでケーキを出しました。
皆さん「ありがとう」「ケーキ
美味しい」と言って
喜んで召し上がり
ていました。



NEWS 今月のニュース

認知症患者、コーヒー提供 水戸のNPO 介護事業所で活動

【鳥羽】三重県鳥羽市は人口減少や高齢化が進む同市の有人離島4島で、ICT（情報通信技術）など新たな技術を活用した高齢者の見守りや、オンラインによる診療・服薬指導の実証調査を行っている。

全国の離島地域が抱える課題解決に向け、国土交通省が進める「スマートアイランド推進実証調査」の一環。市は令和2年度にもICTを用いた実証調査を行い、クラウド型電子カルテや遠隔診療支援システムを導入し、複数の離島が連携した効率的な診療体制の構築などに取り組んだ。

今回行うのは前回の実証調査以降、市が進める「TRIMetバーチャル鳥羽離島病院構想」の一環として、離

島の各住居を「サービス付き高齢者向け住宅」と見立てた実証調査。

人口減少や高齢化が進むことで島民同士のつながりが希薄化し、閉じこもりがちな高齢者が増えていることから、生活支援や医療介護の体制を充実化させ、離島の高齢者を孤立させない取り組みを2月末まで調査し、3月に報告書を提出。実施主体としてセコム医療システムを代表とし、志摩医師会や鳥羽志摩薬剤師会、セコムと市が共同で推進協議会を設立した。

調査では、コミュニケーションロボット「BOCCO emo（ボッコエモ）」を管理人として、見守り支援が必要と医師が判断した一人暮らしや夫婦の高齢世帯10軒（神島7体、坂手島・菅島・答志島各1体）に設置した。

ボッコエモを通じ、セコムスタッフが高齢者の生活リズムと暮らしぶりに合わせて日常会話や注意喚起を行い、誰かとつながる安心感を提供。高齢者からも「いつでも話し相手がいるので夜も寂しくなることはない」などと好評だ。



実証調査で高齢者の自宅に設置されたコミュニケーションロボット＝鳥羽市

<伊勢新聞 23/1/25(水)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>